



		病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期	防除上の注意事項
施設 野菜	トマト	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。曇天が続く場合は発生すると予測される。 (発病果率 0.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生初期の防除を徹底する。</li> <li>施設内が多湿とならないよう、湿度管理に注意する。特に夜間は多湿となりやすいため注意する。</li> <li><b>葉かび病</b> 薬剤が確実に葉裏にかかるよう丁寧に散布する。</li> <li><b>うどんこ病</b> 過度の乾燥は発生を助長するため、注意する。</li> </ul>
		葉かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。曇天が続く場合は発生すると予測される。 (発病小葉率 0.0%)	
	キュウリ	べと病	少	調査ほ場では発病は認められないが、梅雨時期となるため、今後の発生に注意する。 (発病葉率 0.0%)	
		褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病品種では今後の発生に注意する。 (発病葉率 0.0%)	
		うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。引き続き発生に注意する。 (発病葉率 0.0%)	

注1) ▲、▲～▲：防除適期 ■：箱施薬

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

## 果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）

果樹カメムシ類は、春先、サクラなどの果実を餌として生育します。サクラ果実への吸汁率が80%を超えると餌として適さなくなり、果樹園などへ飛来します。

本年の5月下旬のサクラ果実吸汁率調査では、多くの調査地点で指標となる80%を超えました(表)。今後、果樹園へ飛来する可能性があります。

特に、風が弱く、夜温が高い薄暮時(日没後2時間位)に活動が活発となるため、園内をよく観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。

表 チャバネアオカメムシによるサクラ果実吸汁率調査 (H30)

調査地点名	吸汁果率 (%)
	5 / 下
岐阜市	96.7
池田町	80.0
美濃加茂市	87.8
美濃市	75.0

## モモせん孔細菌病

本病は病原細菌により、枝、葉および果実に発病します。枝での発病は、春型と夏型の病斑があり、春型は開花期から落花期にかけて結果枝の表面に発生します。結果枝にある病斑から5月から6月にかけて病原細菌が風雨により葉や果実に拡散します。葉では、最初、カスリ状に白っぽくなり、のちに褐変し、穴があきます。果実では初め褐色の小斑点が生じ、果実の肥大にともない大きな病斑となります。本病によって、果実が腐敗することはありませんが、見た目が悪く、品質は大きく低下します。

対策は発病部位は伝染源となるため、見つけ次第除去してください。幼果は本病に感染しやすく、落果の原因にもなるため、袋かけは早めに行いましょう。

なお、防除を行う場合は、散布ムラのないよう丁寧に行ってください。



### 6月～8月は 「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 5月24日発表)

向こう1カ月の気温は平年より高く、降水量は平年並～多く、日照時間は平年並～少ない見込みです。期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。  
[http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index\\_12132.html](http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_12132.html)  
 〒501-1152 岐阜市又丸729 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767